



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 331
October
2020

トピックス

メンバー国との協力推進

📌 アジア防災会議2020オンライン会議終了

📌 メンバー国によるレポートの紹介：バングラデシュ、シンガポール

お知らせ

UN-SPIDER会議「前例なきパンデミック下での教訓“Lessons Learned During an Unprecedented Pandemic”」

Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540
Fax: 078-262-5546
editor@adrc.asia
https://www.adrc.asia

© ADRC 2020

●メンバー国との協力推進

アジア防災会議2020オンライン会議終了

今年度のアジア防災会議2020（ACDR2020）は、新型コロナウイルスの世界的流行を受けて、ウェブ上で、そして3つの構成で実施しました。

- (1) テーマに沿ったレポートの収集・公開
- (2) オンライン会議
- (3) 報告書の作成

2020年10月20日～22日にかけて実施されたオンライン会議には、メンバー国、国際機関、NGO、研究・学術機関、民間企業などから多くの防災関係者にご参加いただき、成功裏に終了しました。ご協力いただきました関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。

オンライン会議の様子は、以下のサイトで公開されています（2020年12月31日まで）。また、オンライン会議の詳細につきましては、次号のハイライトでお知らせいたします。

（日本語）

1日目：<https://youtu.be/FzBKgS0Hjyk>

2日目：<https://youtu.be/OEYrGghURzg>

3日目：<https://youtu.be/THaqpMOTfjM>

（英語）

1日目：<https://youtu.be/oh1rd3MtPC0>

2日目：<https://youtu.be/kjeUsB0SyLA>

3日目：<https://youtu.be/hJbd90LyWag>



オンライン会議

メンバー国によるレポートの紹介：バングラデシュ、シンガポール

上述のとおり、オンライン会議は終了しましたが、今年度の会議のテーマである「1. 頻発化、激甚化する災害リスクの課題と防災・減災対策」と「2. コロナ禍における防災・減災対策」に関して、メンバー国から提出いただいた現状と課題についてのレポートをACDR2020のホームページ上で収集、公開しています。今回はバングラデシュ（テーマ1）とシンガポール（テーマ2）からのレポートについて、本紙面で紹介させていただ

続き

きます。（以下、レポートの抄訳）

バングラデシュ

「気候変動による頻発化、激甚化する災害リスクの課題と防災・減災対策における課題について」

バングラデシュは、気候変動や異常気象に関連した複数のハザードリスクの影響を長期的に受けやすくなっています。課題としては、高潮による慢性的な海水の侵入、海面の上昇、洪水、川岸の浸食、農業干ばつ、環境悪化等が挙げられます。

更に、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）は、気候変動の影響により2050年までにバングラデシュの2000万人が国内避難民になる可能性があるかと警告しています。

そうなれば、住環境が不均衡な状態になり、経済的にも村落部と都市部ともに、不安定な状態になることが予想されます。

このような状況に対峙し、将来のリスクを最小限にするために、防災のための慎重な、そして効果的な戦略が必要となります。そのため、リスク情報に基づいた土地利用計画を通じて、計画された形での強靱なインフラへの更なる投資が必要です。また、適切な行動を積極的に取れるようするために、ハザードやリスクを正確に把握し、災害に関するデータや情報をより正しく集積する必要があります。

また、気候変動の将来なリスク影響を考慮すると、私たちは革新的な解決策、AI、ロボット、リモートセンシングといった隅々の人々まで届くような最新技術を模索しなければならないでしょう。

バングラデシュでは現在、国における将来のリスクと持続可能な開発を考慮しながら、みんなに受け入れられる、バランスのとれた防災のための技術が適用できるかについて調査しています。

シンガポール

「コロナ禍における防災・減災対策の課題について」

このパンデミックによって、国は、人々の生命や生活に直結する「今、解決しなければならない問題」や「生活の糧」といった目の前の問題に取り組んでおり、このことは防災（DRR）に対する優先順位に影響を与えながら、今後何か月も続くでしょう。このパンデミックによる経済への影響により、防災活動も今後長期にわたり停滞するかもしれません。

その一方で、このような危機の中において、「新しい日常」の中に楽観やチャンスを見出す機運もあります。厳しい現実とパンデミックによる影響は、危機への備えや対応の重要性を示しました。パンデミックをうまく管理できた国々は、一般的に危機に対応する緊急対応計画があり、刻々と変化する状況に対して戦略を柔軟に適用しました。パンデミックはまた、デジタル改革や、私たちの生活、仕事、余暇におけるIT利用を加速させました。危機管理戦略に技術を組み込むことにより、国民とのコミュニケーションを明確に、タイムリーに、開かれた形で行い、国民の更なる信用と信頼を得ることができています。

国家間とのより親密な連携と連帯は、効果的なDRRにとってより重要となります。長期的な視野を持ちながら、その一方で直近の課題に取り組み、このパンデミックから得られた教訓を活用しながら、世界はもっと強く、そしてDRRや災害管理への備えをしっかりとし、パンデミックから強く立ち上がることができます。

本レポートの全文は、ACDR2020のウェブサイト (<https://acdr.adrc.asia/>) で公開されています。

●お知らせ**UN-SPIDER会議「前例なきパンデミック下での教訓 “Lessons Learned During an Unprecedented Pandemic”」**

国連防災緊急対応衛星情報プラットフォーム (United Nations Platform for Space-based Information for Disaster Management and Emergency Response: UN-SPIDER) は、来る2020年11月24-25日に会議「前例なきパンデミック下での教訓 “Lessons Learned During an Unprecedented Pandemic”」をオンラインで開催します。

アジア防災センターは2009年からUN-SPIDERのRSO (Regional Support Office) であり、アジア太平洋地域における防災への宇宙技術・データの応用を推進するためのプラットフォームであるセンチネルアジアの中核組織です。

この会議において、アジア防災センタープロジェクトディレクターの鈴木弘二が「(仮)コロナ禍における日本の洪水災害へのセンチネルアジアの緊急観測」と題して講演を行います。コロナ禍において、衛星技術がいかに災害被害の軽減に役立つかについて説明する予定です。詳細は以下のリンク (英語) をご覧下さい。

<https://un-spider.org/news-and-events/events/un-international-conference-beijing-2020>

問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。